

第8回多気町小学校統合準備委員会

議事録【要点記録】

1 日時 令和8年3月30日(月) 18:30~19:50

場所 多気町 BANKYO 文化会館 1F 第1講座室

2 出席者

委員：森井委員、藤原委員、高倉委員、北山委員、池下委員、小林委員、
木屋委員、鈴木委員、西浦委員、久保委員、達委員、達村委員、大
谷委員、中西委員、橋本委員、西村委員、福井委員、明石委員、田
丸委員、前納委員、鳥井委員、島岡委員

アドバイザー：近藤准教授、市田准教授

多気町長：筒井 尚之

事務局：小林教育長

教育課 岡井課長、浦田係長

学校統合室 安濃室長、花谷係長、中森指導主事、森下主査

受託業者：(株)建設技術研究所 椋木、柳堀、島村、西村

欠席者：野呂委員、岸川委員、角谷委員、村田委員、吉川委員

3 委員会事項

(1) 開会

町長より開会の挨拶

教育長より開会の挨拶

事務局： 多気町小学校統合準備委員会設置条例に基づき、過半数の出席のため成立と
する。副委員長の森井委員の進行とする。

(2) 年間活動報告について

事務局： 資料 1-1、資料 1-2 について説明。

(3) 各検討部会活動報告

1) 建設検討部会について

- 部会長： 建設検討部会の活動内容について説明。
- 事務局： 資料 2-1、2-2、2-3 について説明。
- 委員①： 職員室および職員休憩室はガラス張りとしなないことが望ましい。廊下・階段の仕上げについては、滑りやすさへの対策に十分配慮する必要がある。屋上への階段は、児童の目に触れない配置とすべきである。また、現時点における総事業費を確認したい。
- 事務局： 屋上への階段については、指摘のとおり対応する。階段の仕上げについては一般的な安全対策が講じられる想定であるが、廊下の仕上げについては滑り止め仕様とすることがかえって転倒につながる可能性もあるため、今後検討する必要がある。総事業費については、昨今の物価上昇を踏まえ、増加する見込みである。
- 准教授： 敷地は浸水想定区域に該当するか。全体として要求水準書が細部にわたる内容となっているため、設計の自由度を損なっていないか懸念される。図書館の要求水準書については、「生活や交流の場」とする方針と「読書機能の重視」に関する記載との間で不整合が生じていないか確認が必要である。また、その他の項目についても同様に、不整合が生じていないか精査する必要がある。
- 事務局： 敷地は浸水想定区域外である。図書館については、司書の意見を踏まえて検討を行っている。不整合が生じている場合には、必要に応じて修正する。
- 委員②： 地域交流室は屋内運動場に整備される想定か。
- 事務局： 地域交流室は地域住民が利用する諸室である。児童にとって見慣れない地域住民が校舎棟内に立ち入ることを避ける観点から、屋内運動場への整備としている。
- 委員③： 電話は 1 回線とのことであるが、どのような仕様を想定しているか。また、FAX は整備するのか。さらに、外国語教室は普通教室と同程度の規模を想定しているか。ネットワーク環境も同様の水準で整備されるのか。
- 事務局： 電話の「1 回線」については、学校に対して 1 つの電話番号を設定するという意味である。複数同時着信が可能な仕様で整備する想定である。外国語教室は ALT の拠点として整備するものであり、規模やネットワーク環境等の仕

様は普通教室と同程度とする。FAX の必要性は、今後検討する。

2) 総務部会について

部会長： 総務部会の活動内容について説明。

事務局： 資料 3 について説明。

3) 運営検討部会について

事務局： 運営検討部会の活動内容について説明。

事務局： 準備委員会後、今後の運営検討部会での活動内容について説明させていただく。

4) 地域検討部会について

事務局： 地域検討部会の活動内容について説明。

事務局： 通学バスルートの再走を実施した。通学バスルートは今後も継続して検討する。

(4) その他

事務局： 資料 4 について説明。

准教授： 今後も引き続き部会にて協力させていただく。

准教授： 建設検討部会では活発な議論が行われた。今後も引き続き部会にて協力させていただく。

(5) 次回開催日程について

事務局： 次回は、令和 8 年 6 月 3 日に実施する予定である。

以上